

平成 29 年 4 月 18 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

米国研究機関 SRI International との相互協力に関する覚書締結について

株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 ^{おやまだ たかし} 小山田 隆）は、米国独立研究開発機関 SRI International（CEO William Jeffrey、以下 SRI）と、今般、Fintech^{*1} 領域の事業機会創出等における相互協力を目的とする覚書を締結いたしました。

三菱東京 UFJ 銀行は、昨年以降、SRI との協働により、訪日外国人観光客の購買傾向や各種行動データ、その他の潜在ニーズ等に対して AI 分析を行う実証実験を実施するなど、「情報仲介ビジネス^{*2}」の可能性を検討してまいりました。

本覚書締結を通じ、本実証実験で得られた知見を元に、潜在的購買ニーズを把握し、お客さまの店舗への効果的な送客や生産管理の効率化に資する新たなサービスの開発を目指します。

三菱東京 UFJ 銀行は、今後も、本実証実験に留まらず、同行が持つ顧客基盤（匿名化され適切に管理されたマクロデータ）や金融分野における見識と、SRI が持つ先端技術やシーズインキュベーションプロセス^{*3} における知見を融合させ、新たな事業機会創出に向けて、相互に協力してまいります。

【SRI International (SRI) について】

SRI は、米国シリコンバレーに拠点を置く独立研究開発機関で、スタンフォード大学にて設立され、1970 年に独立しました。SRI は最先端の研究開発を商業マーケットに展開するため、民間企業や政府機関と技術革新と科学技術の両面で協力することでイノベーションを実現し、クライアントにとって高い価値を創造しています。また、SRI は、70 年以上にわたり画期的な製品、技術、および産業の創生から事業化までをリードしてきました。これまでの実績として、世界中で使用されている磁気インク文字認識を使用した世界初の自動小切手処理システム ERMA の開発、世界初のコンピュータ用マウスの作製、秘書機能アプリケーション Siri の人工知能技術の開発が挙げられます。

*1. Fintech : Finance(金融)と Technology(技術)を組み合わせた造語。最先端の ICT を駆使した革新的な金融サービスやそれらを創出するための活動。

*2. 情報仲介ビジネス : 様々な媒体からデータを収集・分析することで付加価値の高い論理を読み出し、企業の売上向上に貢献する情報提供やコンサルティング等の対価として手数料を得るビジネス。

*3. シーズインキュベーションプロセス : 研究開発された技術要素を核として事業の創出・創業を支援する活動手法。

以 上